

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナ過での対応も3年目となるが、面会制限等の対応は続いている。直接会えないことで利用者様に精神的な負担を掛けたり・家族様を忘れてしまうことにも影響ある。外部との関りが減ったことで、認知面での進行も心配される。	コロナで制限はあるが面会の希望あれば実施する。また本人様の様子を見て施設からも面会を勧める。昔話したり季節を感じて頂くことで、精神的な不安や認知症の進行予防に繋がりたい。	面会は窓越しではあるが顔が見やすい場所で行う。職員が付き添って利用者様の様子や家族様の話を伝える。コロナが治れば距離を取っての面会から行う。利用者様の昔の写真や施設の行事写真を見て話したり、施設敷地内畑の野菜を栽培・収穫・調理して昔を思い出したり・季節を感じる。	12ヶ月
2	35	コロナの感染流行は続き、大雨・気温の上昇等の自然災害も全行的にも多くなっている。施設として利用者様や職員の安全を守り・事業を継続できるように対応策が必要である。	災害時に事業が継続していけるように感染症対策・災害対策を作成する。	感染症対応はコロナ感染時の対応が市から示されているので、それを参考に作成する。災害については大雨による被害が近年最も想定されるので、まずは大雨対策から省庁の資料を見たりや地域の役所・社協等にも話を聞き作成する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。